

(386)

## テンションレベルにおける伸び率と形状矯正効果

(ステンレス鋼熱延鋼板のテンションレベルリギング効果—2)

川崎製鉄 千葉製鉄所

○伊藤正彦

渡辺敏夫

高田正和

善本毅

## 1. 諸 言

冷延鋼板における形状矯正に関する研究は従来から数多く報告されているが、熱延鋼板について、特にステンレス鋼板についてはほとんど報告されていない。本報では APL (ステンレス鋼の連続焼鈍酸洗ライン Annealing and Pickling Line) におけるテンションレベルの形状矯正効果について報告する。

## 2. 実験方法

APLにおいてSUS 304およびSUS 420J2を材料とし、インターメッシュと張力を変化させることにより、鋼板に与える伸び率を変え、形状矯正に対する効果を測定した。伸び率は鋼板上長手方向の距離500mmの2点を決め、矯正前後においてその距離を測定することにより求めた。急峻度は平板上において耳伸びピッチと耳伸び高さから求めた。

## 3. 実験結果

Fig.1 Relation between intermesh and elongation

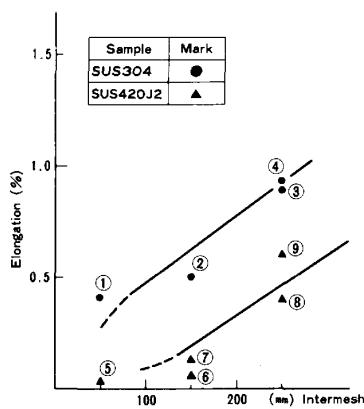
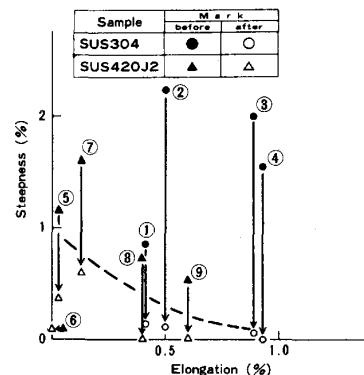
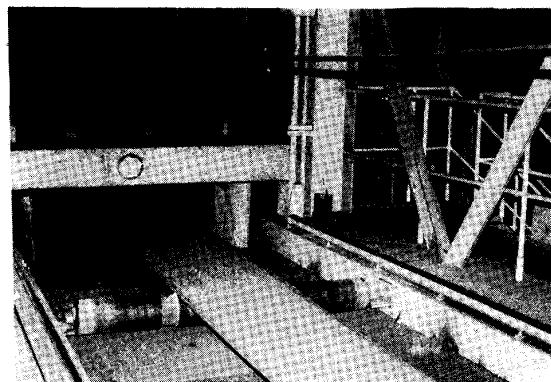


Table I Experimental condition of tension leveler

Sample	Thickness (mm)	Width (mm)	No.	Intermesh (mm)	Unit tension(%)	
					Front	Back
SUS304	4.0	1025	①	50	1.0	0.4
			②	100	1.2	0.4
			③	150	1.5	0.4
			④	200	1.5	0.4
SUS420J2	2.7	710	⑤	50	2.2	1.0
			⑥	100	2.4	1.0
			⑦	150	2.4	1.0
			⑧	200	2.9	1.0
			⑨	250	2.9	1.0



before leveling



after leveling

Photo. 1 Effect of tension leveler (SUS 420J2)